

愛媛県人材育成方針の改定の趣旨

【改定の基本スタンス】

新県政における戦略方針として策定された「新長期計画」及び「新行政改革大綱」において示された県政の現状認識と進むべき道筋などを反映し、「挑戦」、「連携」、「創造」を県政運営において共有すべき改革姿勢と位置付けた上で、職員の意識改革の徹底、研修や実践を通じた政策立案能力の強化、能力や意欲を活かす人事管理の推進などにより、研修による能力開発型に加えて、現場による実践型の人材育成にシフトし、分権型社会の担い手となる人材の育成に努める内容に改定する。

今後、求められる職員像
 5つの意識改革を常にイメージすることで
 困難な課題に、“スピード感”を持って、“前向き”に取り組み、
 “結果を追求”する実践型職員

【改定の主なポイント】

項 目	改定のポイント	改定による取組みの概要
職員研修のあり方	時代潮流に沿った研修の拡充	研修所研修において、政策立案能力強化のための研修メニューの拡充 市町との連携に向けた研修の合同実施
職員の意識改革	5つの意識改革の徹底と実践	啓発研修などを通じた周知徹底、管理職の実践などによる人材の育成
やる気を引き出す人事管理システム	課長級昇任試験制度の実施	政策課題に迅速に対応する「課」のリーダーに、意欲・能力ある職員を積極的に登用
	能力・業績・意欲重視の評価と反映	能力、意欲等の的確な評価により、努力した職員が報われる人事配置や能力の高い職員の登用、給与への反映
創意工夫や企画力を発揮できる組織づくり	政策立案型で機動的な執行体制づくり	課長級昇任試験や執行リーダー制拡充による政策立案型の組織体制の構築 部局横断的なスタッフ職やP Tの活用
幅広い人材の育成と活用	派遣研修による人材の育成	国際感覚や民間ノウハウを身につけた人材を育成し、能力・人脈を積極的に活用
	市町や他県との人事交流の推進	基礎自治体重視の理念のもと、相互交流を進めて、交流職員が絆となり「チーム愛媛」としての連携を深めるとともに、広域行政のあり方の検討も視野に入れ、四国3県等との相互交流も進める